

普及センターだより

古き野菜トウガン(冬瓜)を家庭菜園に

トウガンは、簡単に作れて健康的にも低カロリーのうちえ利尿作用などもあり、さらには貯蔵期間も長く家庭野菜としてとても優れています。

ウリ科つる性の一年草で日本では10世紀には栽培されていたと言われています。

品種はあまり多くありませんが近年は大型の在来種の中に小型のものが見られるようになりました。

小冬瓜と呼ばれるもので重さは2〜3kgで長細い球形をしています。連作をしなければ病気にもあまりなりませんので家庭菜園に一つ加えてみたら良いと思います。

俵刈り

土は選びませんが水に比較的低いので地下水の高い畑ではうねを高く立て排水を良くすることが大事です。

植えつけ又は直まきする10日前までに元肥を施し、うねを作ります。

元肥の量参考

化成肥料：100〜120g/m²

(N:P:K=8:8:8)

出来れば堆肥を3kg/m²

移植栽培の場合、本葉5〜6枚になったら植えつけます。

(巻きひげが出る前が良い)

直まきは、うね立て整地後1箇所につき2〜3粒まき、本葉が1.5枚になった頃生育の良いものを一本残します。

本葉5〜6枚で親つるの摘心します。生育の良い子つるを3〜4本伸ばします。

整枝

本葉5〜6枚で親つるの摘心します。生育の良い子つるを3〜4本伸ばします。

敷ワラ、かん水

敷ワラは、つるが1m程度伸びた頃に行い、初めは株元に生育するに従って広げていきます。かん水は植えつけ当初に行いますが、活着後は乾燥に強いので行

う必要は殆どありません。

追肥

植えつけ20日後と、実が12〜13cm位の大きさになった頃に1回あたり化成肥料100g/m²を追肥として施し、肥料切れの無いようにすることがポイントです。

病害虫の防除

アブラムシやウリハムシ等の害虫が発生することがあるので殺虫剤で防除をします。

ウドンコ病が発生したらモレスタン剤等で早めに防除をします。

収穫

開花後1〜1ヶ月半で収穫できます。白い粉が充分に付いた頃が収穫の適期です。

山武農業改良普及センター
0475-5410227

文芸

俳句

春愁や女人の筆の掠れ文字

浅野 茂子

植輪の目縄文の春語りをり

池田 逸子

メール入る手許に柔き春灯

伊藤 敬子

たかだかと笠森観音花の磴

岡田 雅美

日時計の針は動かず花曇り

向後 寛

寄り道の子にむらがりて犬ふぐり

鈴木 繁子

病む身にも自然がありて春が来し

土屋 栗水

鳥唄の春の渚に酌みにけり

渡部 和秋

花万葉人波つくる遊歩道

選者 鈴木 草庵

短歌

春の雨音安らかに聞きてをり

永藤 滋

野良の仕事の整ひし夜は

永藤 滋

流れゆく雲をうつけしたまり水

萩原 信一

水の面を流る桜と競ひつつ

掛川 友代

疎水に沿ひて歩みゆくなり

掛川 友代

ひき抜きて捨て積みせし菜の花は

鈴木 やす

バス停の「桜前」なるを諸ひぬ
花咲き盛る季に通りつ

西山満里子

田の畔に芹摘みるたりやわらかな
春の光を背中に受けて

八角 三枝

たんぼの絮のひとつが光りつつ
春野を遠く巣立ち行きたり

宇井 ちい

例年より暖かき日の続きもて
十日も早く桜咲き満つ

押尾 輝子

山菜の味もいつしか忘れぬつ
豊富な食のくらしに慣れて

佐瀬 初音

街川に誰が捨てしか三輪車の
赤きが流れ狭めぬるなり

吉岡 信子

庭草を引きゆく吾の背後より
帽子もち上げ春の風吹く

秋葉 悦子

葉桜の翳なし続く並木道
おのづと心わらぎ歩む

選者 斎藤つね子

